

尾形 優子さん

大阪府高槻市出身。京都大学大学院工学研究科で学び、結婚を機に高松へ。IT企業などでの勤務を経て、2002年に周産期電子カルテなどを提供するミトラを設立、15年にメロディ・インターナショナルを立ち上げた。綾川町在住。



すてきな人

医

療機器製造のメロディ・インターナショナルの最高経営責任者(CEO)の尾形優子さん。妊婦の健康状態を遠隔診療できる小型の分娩監視装置「iCTG」を開発、「それぞれに合った使い方をしてほしい」と語る。ミャンマーやタイ、国内外の島

しょ部などで立地や医師不足によって妊婦や医師を取り巻く環境が厳しくなっている状況を目の当たりにして、「現状を変える必要性を強く感じた」。遠隔診療の基盤を生かして、これらの弊害を取り除こうとメロディ社を立ち上げた。

遠隔診療の基盤生かして 厳しい環境を変えていく

開発したiCTGは手のひらサイズの子宮収縮計(陣痛計)と胎児心拍計、波形を表示するタブレット端末がワンセット。妊婦がベルトで腹部に固定するだけで使用でき、データは産科医らのスマートフォンなどに送信される。妊婦の通院や激務を強いられる産科医の業務の負担軽減を実現した。

1月から医療機関向けに販売開始、タイやミャンマーでの運用も始まっている。利用者からは「これで測ることができるようだ」と驚きの声を耳にすることも。「開発したいがある。1人1台持つてくれるようになれば」と目を輝かせた。